

# 3つの目で見た郷土香川《第15回》

## ～香川用水～



今回は香川の重要な水のライフラインである香川用水の出発地である、徳島県三好市から香川県三豊市を旅してきました。

さて香川用水は、徳島県三好市にある池田ダム（左上写真）からで、このダムの目的の1つとして、『取水のための水位の維持』があります。このダムのすぐ近くに吉野川北岸用水の取水工もありますが、香川用水の取水工（左上2番目写真）は、このダムの上流約1.8kmにあります。ここで取水された水は阿讃トンネル（8km）を通り、三豊市財田町にある出口へ至り、そしてここから東西両幹線水路が分岐しております。



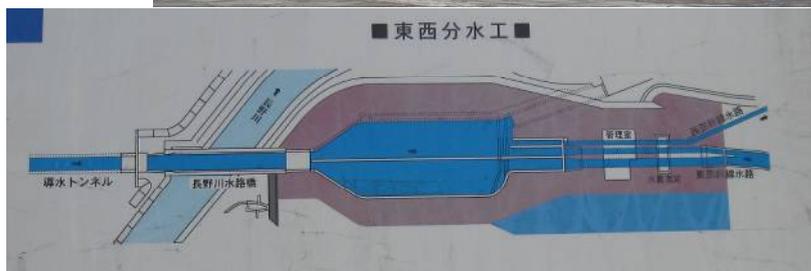
ここには1997（平成9）年5月に開設された香川用水記念公園があり、また園内には水の資料館（入館無料／下から2番目写真）が併設されています。この資料館のメインは香川用水なのですが、讃岐のため池や香川の水事情、吉野川の治水など幅広い観点を、パネルや実物の展示物、映像などを通じて分かりやすく解説していました。毎年6月11日には、先人の遺徳を称え、配水の安全と豊潤を祈願するため、水口祭が開催され、田植えシーズンの風物詩として有名です。

※水田の水の入り口の事を『水口（みなぐち）』といい、讃岐では4月中旬、苗代が仕上がったとき、水口に水への祈りと感謝を捧げる風習がありました。

次は、三豊市財田町と山本町にまたがる宝山（ほうざん）湖（次頁一番下写真）へ行きました。ここは2009（平成21）年3月の竣工、名前の由来は財田は『たからだ』とも呼ばれ宝、山本の山、また香川県にとって宝のように水があることを願ったものだそうです。用途は香川用水のうち水道用水を最大300万 $m^3$ 貯水され、渇水時の補給や緊急時の活用に利用されることになっています。またこの付近は高瀬支線水路が分岐されております。



香川用水の概要は、用水総延長106km（東部幹線、高瀬支線、西部幹線）、受益地域は島嶼部除く全県下、年間供給量は2億4700万トン、内訳は農業用水（1億500万トン）、水道用水（1億2210万トン）、工業用水（1990万



トン) というように香川的生活・農業・産業にはなくてはならない存在です。農業用水は、香川用水からの水は一旦既存のため池に配水される事になっており、そこから先は、江戸時代から続く讃岐独特の厳格な水慣習に従って、それぞれの水田などに供給されることになっております。また田植え用水はまず地元のため池、香川用水の水はその後の補給水という役目から最大の需要期は、毎年7月11日から9月15日までとなっているのが特徴です。水道用水は西部(三豊市高瀬町)・中部(仲多度郡琴平町)・綾川(坂出市府中町/香川用水から綾川をへて府中ダム経由で浄水場に至る)・東部(高松市岡本町)の香川県営浄水場を通じて8市5町へ供給、工業用水は中部・綾川浄水場を通じて主に坂出・宇多津・丸亀地区の工業地帯に供給されています。



香川用水 東部幹線水路 (三豊市財田町)

香川用水のきっかけは、1948(昭和23)年から2年度において、国の経済安定本部に設置された河川総合開発調査協議会の指定河川として吉野川が選定され調査されたことに始まり、ここで確保された水を徳島県はじめ他3県に分水する計画が議論された事により開始されました。その後関係者の意見の調整など紆余曲折をへて、1966(昭和41)年7月に早明浦ダムを基幹とする吉野川総合開発計画に四国四県が同意したことで本格的に事業展開しました。

一方香川用水の本体の方は、1965(昭和40)年から香川県は関係各省に陳情を開始、同年6月に香川県の農林部土地改良課に香川用水係を新設、同年末には農林省(当時)に強力な陳情を実施した結果、1966(昭和41)年4月農林省は、香川用水計画を国営土地改良事業調査地区とし、事業計画の取りまとめが開始されました。そして1968(昭和43)年10月24日に現在の阿讃トンネル出口付近(当時は三豊郡財田村)で起工式が挙行され、水道・農業・工業用水の共用区間(総延長47km)は水資源開発公団(現独立行政法人水資源機構)、農業専用区間(総延長59km)は国営事業として農林省がそれぞれ施工を担当しました。1974(昭和49)年5月30日に東西分水工の施設地(現在の香川用水記念公園)にて暫定通水式が行われ、翌年4月の池田ダムの竣工をへて、同年6月から本格的通水が開始。引き続き農業専用区間の工事が継続され、1978(昭和53)年に香川用水全線での通水が開始され、1981(昭和56)年ようやく工事が終了しました。

現在香川用水での水の取水から配水までの水管理や施設の維持管理については、水道・農業・工業用水の共用区間は独立行政法人水管理機構で、現地管理機関としては香川用水管理所(仲多度郡琴平町)、農業専用区間は農林水産省から管理委託等を受けた香川用水土地改良区(高松市番町)で行われております。



《参考資料等》

- ・香川県史7(現代)  
(香川県発行/平成元年)
- ・独立行政法人 水管理機構香川用水管理所HP
- ・水土里(みどり) ネット香川用水(香川用水土地改良区)HP
- ・香川用水記念公園(財団法人かがわ水と緑の財団)HP